

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 河合楽器製作所

コード番号 7952 URL <http://www.kawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部副部長

(氏名) 丸山 孝

TEL 053-457-1227

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	11,930	26.7	10	93.4	50	84.7	21	
21年3月期第1四半期	16,279		152		326		187	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.25	
21年3月期第1四半期	2.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	37,242	11,303	30.4	132.16
21年3月期	36,978	11,016	29.8	128.80

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,303百万円 21年3月期 11,016百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		1.50	1.50
22年3月期					
22年3月期(予想)		0.00			

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

注: 22年3月期の配当予想につきましては、先行き不透明な現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	25,700	22.6	300	32.9	0		300		3.50
通期	53,000	14.0	1,000	48.4	400		300		3.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
注:詳細は4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	85,610,608株	21年3月期	85,610,608株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	81,740株	21年3月期	81,303株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	85,528,868株	21年3月期第1四半期	85,536,516株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年3月期の配当予想は現時点では未定ですが、今後の業績などを総合的に勘案し、決定次第速やかに開示いたします。
2. 業績予想につきましては現時点で入手可能な情報や事業計画等をもとに判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、楽器事業と素材加工事業の売上減少により11,930百万円(前年同期比4,349百万円減)となりました。このうち、国内売上高は8,889百万円(前年同期比2,596百万円減)、海外売上高は3,040百万円(前年同期比1,754百万円減)となりました。

損益につきましては、人件費を含むあらゆる経費削減活動を強力に推進しましたが、売上高減少により、営業利益は10百万円(前年同期比142百万円減益)となりました。経常利益は50百万円(前年同期比276百万円減益)となり、四半期純損失は21百万円(前年同期比208百万円減益)となりました。

事業セグメント毎の状況は、楽器事業は、中国市場においてピアノの販売が増加しましたが、北米市場および欧州市場の景気の後退による販売減少と国内販売の減少により、売上高は5,754百万円(前年同期比2,060百万円減)となり、営業損失は183百万円(前年同期比279百万円減益)となりました。

教育関連事業は、音楽教室および体育教室の生徒数減少により、売上高は4,284百万円(前年同期比298百万円減)となりましたが、生徒募集方法の効率化など経費圧縮に努め、営業利益229百万円(前年同期比275百万円増益)となりました。

素材加工事業は、金属事業および塗装事業の受注高が減少したため、売上高は1,370百万円(前年同期比1,959百万円減)となり、営業利益は32百万円(前年同期比188百万円減益)となりました。

情報関連事業は、OA機器の販売減少により、売上高は467百万円(前年同期比26百万円減)、営業損失は12百万円(前年同期比39百万円改善)となりました。その他事業の売上高は52百万円(前年同期比6百万円減)、営業利益は7百万円(前年同期比7百万円増益)となりました。

所在地別セグメントの状況は、日本は、楽器事業と素材加工事業の売上高の減少により、売上高は9,767百万円(前年同期比3,159百万円減)となりましたが、原価の圧縮と人件費および経費の削減により、営業利益は134百万円(前年同期比149百万円増益)となりました。

北米は、景気減速による市場縮小により、売上高は1,001百万円(前年同期比964百万円減)となり、営業損失は34百万円(前年同期比151百万円減益)となりました。

欧州は、円高の影響が大きく、売上高は506百万円(前年同期比158百万円減)となり、営業損失は26百万円(前年同期比32百万円減益)となりました。

その他地域は、中国市場のピアノ販売は増加しましたが、豪州市場の販売減少により、売上高は654百万円(前年同期比69百万円減)となりました。営業利益は経費削減もあり77百万円(前年同期比21百万円増益)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の資産については、有形固定資産の増加などにより、総資産は37,242百万円(前期末比264百万円増加)となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金の減少などがあり、25,939百万円(前期末比23百万円減少)となりました。

純資産合計は、評価・換算差額等の増加もあり、11,303百万円(前期末比287百万円増加)となりました。

キャッシュ・フローに関する分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、4,426百万円(前期末比136百万円

減少)となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の減少などにより644百万円の資金の増加となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより1,445百万円の資金の減少となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入などにより623百万円の資金の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成21年5月12日に公表いたしました平成22年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたしました。詳しくは、本日(平成21年8月5日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の業績予想につきましては、平成21年5月12日公表を据え置きます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異のたな卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異等の発生状況に判断の変更を要する程度の著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,161	5,265
受取手形及び売掛金	3,724	3,634
有価証券	80	50
商品及び製品	4,024	4,031
仕掛品	1,282	1,349
原材料及び貯蔵品	1,429	1,577
その他	1,202	1,126
貸倒引当金	293	270
流動資産合計	16,611	16,764
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,849	5,168
機械装置及び運搬具(純額)	2,132	2,163
土地	6,041	6,029
その他(純額)	1,585	1,675
有形固定資産合計	15,609	15,037
無形固定資産	1,358	1,419
投資その他の資産		
繰延税金資産	455	543
その他	3,341	3,341
貸倒引当金	134	128
投資その他の資産合計	3,662	3,756
固定資産合計	20,631	20,213
資産合計	37,242	36,978
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,416	2,464
短期借入金	5,129	4,474
1年内償還予定の社債	225	225
未払法人税等	110	225
賞与引当金	1,144	876
製品保証引当金	53	50
拠点統合引当金	99	110
その他	4,277	5,348
流動負債合計	13,457	13,775
固定負債		
社債	337	337
長期借入金	3,588	3,383
退職給付引当金	7,385	7,209
その他	1,170	1,256
固定負債合計	12,482	12,187
負債合計	25,939	25,962

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	4,867	5,016
自己株式	13	13
株主資本合計	12,208	12,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	184	155
為替換算調整勘定	1,088	1,497
評価・換算差額等合計	904	1,341
純資産合計	11,303	11,016
負債純資産合計	37,242	36,978

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	16,279	11,930
売上原価	12,220	8,958
売上総利益	4,058	2,971
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,397	1,162
賞与引当金繰入額	336	111
退職給付引当金繰入額	125	122
その他	2,048	1,564
販売費及び一般管理費合計	3,906	2,960
営業利益	152	10
営業外収益		
受取利息	4	-
受取配当金	4	-
為替差益	210	71
持分法による投資利益	26	14
その他	46	70
営業外収益合計	291	156
営業外費用		
支払利息	63	61
その他	54	55
営業外費用合計	117	116
経常利益	326	50
特別利益		
固定資産売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	7	8
補助金収入	-	79
その他	1	0
特別利益合計	8	88
特別損失		
固定資産除却損	10	6
投資有価証券評価損	3	-
特別損失合計	14	6
税金等調整前四半期純利益	320	132
法人税、住民税及び事業税	134	79
法人税等調整額	1	74
法人税等合計	132	153
四半期純利益又は四半期純損失()	187	21

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	320	132
減価償却費	427	424
長期前払費用償却額	9	4
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	5
退職給付引当金の増減額(は減少)	243	176
拠点統合引当金の増減額(は減少)	-	10
受取利息及び受取配当金	8	12
支払利息	63	61
持分法による投資損益(は益)	26	14
固定資産除却損	10	6
売上債権の増減額(は増加)	746	25
たな卸資産の増減額(は増加)	150	425
仕入債務の増減額(は減少)	453	81
未払退職金の増減額(は減少)	-	1,034
その他	1,231	780
小計	2,423	838
法人税等の支払額	452	194
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,970	644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	29	0
有形固定資産の取得による支出	349	1,500
有形固定資産の売却による収入	12	1
投資有価証券の取得による支出	0	0
利息及び配当金の受取額	18	11
長期前払費用の取得による支出	21	3
その他	26	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	397	1,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	55	601
リース債務の返済による支出	32	23
長期借入れによる収入	-	600
長期借入金の返済による支出	363	369
配当金の支払額	219	61
自己株式の取得による支出	0	0
利息の支払額	61	59
設備関係割賦債務の返済による支出	67	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	689	623
現金及び現金同等物に係る換算差額	111	41
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	772	136
現金及び現金同等物の期首残高	4,814	4,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,587	4,426

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位：百万円)

	楽器事業	教育関連事業	素材加工事業	情報関連事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	7,814	4,582	3,329	493	58	16,279	-	16,279
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	-	-	46	109	170	(170)	-
計	7,829	4,582	3,329	540	168	16,450	(170)	16,279
営業利益(又は営業損失)	96	46	220	51	0	218	(66)	152

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

(単位：百万円)

	楽器事業	教育関連事業	素材加工事業	情報関連事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	5,754	4,284	1,370	467	52	11,930	-	11,930
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	-	98	84	183	(183)	-
計	5,755	4,284	1,370	566	136	12,113	(183)	11,930
営業利益(又は営業損失)	183	229	32	12	7	73	(62)	10

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は製品の種類、製造方法、販売市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業区分の主要製品等

事業区分	主要製品等
楽器事業	ピアノ、電子楽器、管弦打楽器、楽器付属品、楽器玩具、楽器調律・修理
教育関連事業	音楽・体育教室、教材販売、楽譜、音楽教育用ソフト
素材加工事業	電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材
情報関連事業	OA機器販売・保守及びコンピュータソフトウェアの販売
その他の事業	金融関連事業、保険代理店事業、その他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,926	1,965	664	723	16,279	-	16,279
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,494	1	8	793	2,297	(2,297)	-
計	14,420	1,967	672	1,516	18,577	(2,297)	16,279
営業利益(又は営業損失)	15	117	6	56	164	(12)	152

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,767	1,001	506	654	11,930	-	11,930
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	844	0	15	725	1,585	(1,585)	-
計	10,611	1,001	522	1,380	13,515	(1,585)	11,930
営業利益(又は営業損失)	134	34	26	77	151	(140)	10

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) 欧州……………ドイツ

(3) その他……………オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、中国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
海外売上高	2,448	2,345	4,794
連結売上高	-	-	16,279
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.0	14.4	29.4

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日) (単位:百万円)

	北米	その他	計
海外売上高	1,169	1,871	3,040
連結売上高	-	-	11,930
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	15.7	25.5

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する国または地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) その他……………欧州、中国、オーストラリア、東アジア、東南アジア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7)重要な後発事象

該当事項はありません。